

総合的な学習の時間 学習活動案

1. 日時・場所 平成18年7月6日(木)第5校時 場所 教室

2. 学年・組 第6学年2組(36名)

3. 単元名 「わたしたちの手でパワーアップ」
～校庭の生き物のつながりを守ろう～
環境教育の内容:(1)人と自然(2)人と社会(4)生活環境

4. 単元目標

校庭にどのような条件を整えればいろいろな生き物が一緒に住める環境ができるかを考えることができ、生き物は様々なつながりの中で共存しているという見方や考え方を養い、生き物のつながりを保全していくことができるようにする。

5. 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	カエルを中心にいろいろな生き物が一緒に住むためにどうしたらいいのかを問題意識をもって考える。
思考・判断	池づくりの体験を通して、友だちとお互いの考えを生かした環境を多面的に考えることができる。
技能・表現	自分たちの考えを根拠をもって相手にわかりやすく工夫して伝えることができる。
知識・理解	生き物は様々なつながりの中で共存していることがわかる

6. 単元について

(1) 環境教育と本単元

子どもたちは5年生のときにも教科や田んぼの取り組みを通して環境に目を向けて学習する機会があった。田んぼをつくることで、校庭に様々な生き物が集まることを体験を通して知った。

本単元は学校内の自然環境を見直し、校庭自然体験博物館の一部である「カエル池」を改善していくという取り組みである。この取り組みを通して様々な生き物が一緒に住める条件を考えていく中で環境整備の必要性を感じると共に、学校の環境をより豊かにしようとする態度を育てていきたい。

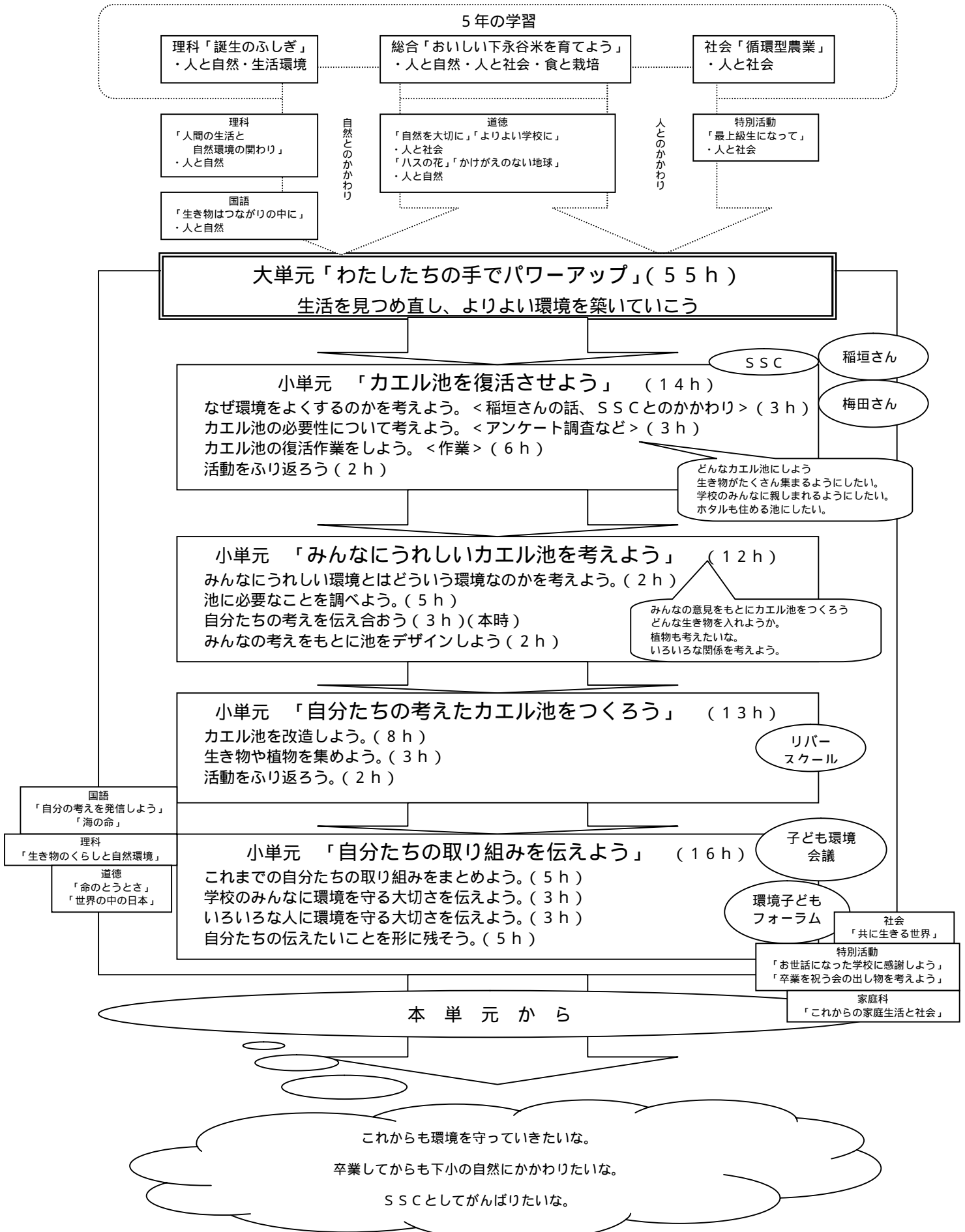
(2) 単元と児童の実態

子どもたちは6年生になり最高学年としての自覚が少しずつ芽生えはじめ、学習や委員会活動など積極的に参加していこうという意欲が見られるようになってきている。また、最高学年として学校にみんなのために何かを残したいという思いももっている。

総合的な学習の時間の導入では、今まで自分たちの体験の場になってきた校庭自然博物館をクラスのみみんなで見てまわった。その中でいくつか放置されている箇所に気づき、「せっかくの場所を自分たちで何とかできないか」という声があがった。

このような児童の思いをもとに活動を進めてきた。また、5年生では田んぼの学習をはじめ様々な場面で生き物のつながりを実感することができた。本単元では様々な生き物がつながっていることと、そのつながりを守っていくことの大切さを考えさせたい。

7. 単元の全体構想図



8. 単元活動計画 (12h)

活動内容	教師の支援 と評価
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みんなにうれしい環境とはどういう環境なのかを考えよう </div> <p style="text-align: center;">(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の人たちに意見を聞こう。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・カエルのために水辺を復活したい。 ・いろいろな生き物もいる池がいい。 ・学校みんなが観察できる池にしたい。 ・植物がたくさんある池にしたい。 </div>	<p>生き物や植物のつながりに目を向けるよう声をかける。</p> <p>池を利用する人たちを視野に入れて考えている。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 池に必要なことを調べよう </div> <p style="text-align: center;">(5時間)</p> <p>みんなにとってうれしい池になるように・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下小にカエルを呼び戻そう。 ・池に住む生き物について調べたい。 ・池には植物も必要だね。 ・池の形って生き物に関係ありそうだな。 ・どうやって池を守っていけばいいかな。 ・ふれあい水辺を参考にしよう。 	<p>調べるのに必要な資料を紹介する。</p> <p>活動カードを用意し、調査結果を残せるようにする。</p> <p>図や表を使ってわかりやすい活動カードをかくことができる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 自分たちの考えを伝え合おう </div> <p style="text-align: center;">(3時間: 本時3 / 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池の生き物について。 ・池の植物について。 ・池の形や深さについて。 ・池を守っていく方法について。 ・池の水質について。 	<p>話し合いや発表のルールを確認させる。</p> <p>自分の考えを根拠をもって話すことができる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> みんなの考えをもとに池をデザインしよう </div> <p style="text-align: center;">(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生き物や植物と一緒に住むことができるポイントを確認しよう。 	<p>前時を振り返り、その内容を生かした池の設計を考えさせる。</p> <p>生き物や植物、地形などについてそれぞれを関連づけて考えている。</p> <p>自分の考えに固執せず、積極的にみんなの意見を取り入れようとしている。</p>

9 . 本時目標

カエルを中心にいろいろな生き物が一緒に住むためにどうしたらいいのか話し合い、今後の活動に生かすことができる。

10 . 本時展開

予想される子どもの思い(・)と活動()	教師の支援 と評価
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分たちの考えを伝え合おう</div>	
<p>1 . 活動とめあての確認をする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・カエルを呼び戻そう。 ・いろいろな生き物のいる池がいい。 ・学校のみんが観察できる池にしたい。 ・植物がたくさんある池にしたい。 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">このポイントを意識した発表を行う。</p> <p>2 . 発表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">池に適した植物について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物にとって植物の役割とは。 ・植物と生き物のつながり。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">池にすむ生き物について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カエルやヤゴとメダカが共生するために気をつけること。 ・アンケートをもとに考えた池に住むことができる生き物について。 </div> <p>4 . 次時の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の話し合いを生かして池のデザインを決定する。 	<p>話す視点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べていく中で知った生き物や環境のつながりについて根拠をもって話す。 ・意見を言う場合には必ず理由を添えるようにする。 <p>聞く視点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたことと友だちの発表が結びつくよう聞く。 ・聞いた内容に対して質問や意見を言う。 <p>カエルを中心にいろいろな生き物が一緒に住むためにどうしたらいいのかを問題意識をもって考える。(関心・意欲・態度)</p> <p>カエル池にいろいろな生き物が共存できるにはどうしたらよいか、自分の考えをもって話し合いができる。(思考・判断)</p> <p>みんなの発表が生かされる池を考えるよう声かけをする。</p>